

山江村議会だより

No.98

まるおか



山田小稲刈り 5年

令和 6 年度決算の認定

目 次

- | | | | |
|-----------------|------------|------------|-----------|
| ○【特集】 令和 6 年度決算 | P2 | ○議会定例会 | P9 |
| ○一般質問 | P4~8 | ○議員研修・編集後記 | P10 |

令和 7 年 10 月 31 日発行 発行：山江村議会 編集：広報編集特別委員会

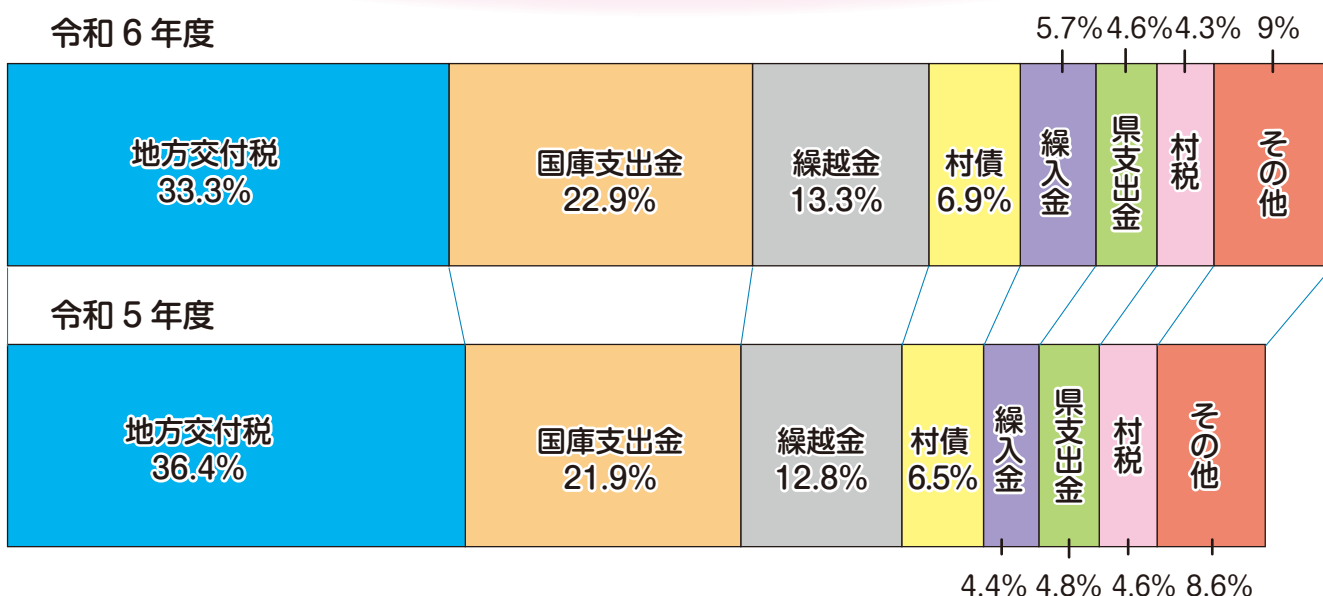
熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)24-5669 山江村域内電話 ☎23-3401

【特集】

令和6年度決算を認定！

令和7年9月12日から19日まで、山江村議会9月定例会が開催され、その中で令和6年度一般会計及び特別会計、公営企業会計決算が認定となり、一般会計においては歳入歳出共に、昨年度を上回る決算となりました。昨年度決算との比較をしてみましょう。

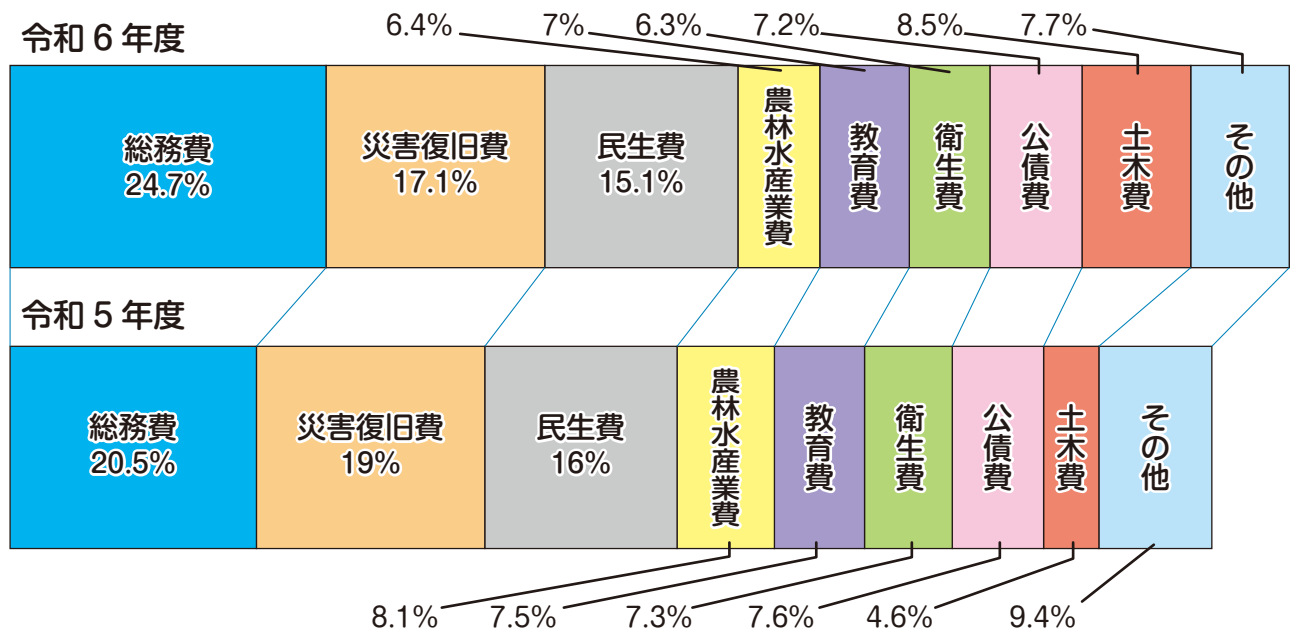
歳入 55億4,644万円



令和5年度の歳入が52億6,321万円でしたので、2億8,323万円の増となりました。増額の主なものとして、国庫支出金1億1,622万円の増（昨年度比110.1%）等が挙げられます。主な名称の説明については以下の通りです。

項 目	説 明	令和6年度決算額
地方交付税	それぞれの市町村の財政格差を小さくするため、国から支給されるもの。使い道は自由。	19億1,460万円
国庫支出金 県支出金	義務教育や道路整備など特定の費用の一部として、国や県から支給されるもの。使い道が決まっている。	(国) 11億5,477万円 (県) 2億5,418万円
村 債	国などからの借入金	3億4,250万円
繰 入 金	基金（いわゆる預金）等の一部取り崩し、繰り入れるもの。	2億2,983万円

歳出 49億8,966万円



※その他・・・商工費・消防費・議会費の合計

※公債費・・・国などから借入れした分の元利返済金

令和5年度の歳出が45億2,427万円でしたので、4億6,539万円の増となりました。増額の主なものとして、土木費が2億1,283万円の増（昨年度比201.2%）、総務費が3億345万円の増（昨年度比132.6%）でした。歳入から歳出を差し引くと5億5,678万円（形式収支額といいます。）となります。それから翌年度へ繰り越すべき財源（繰越明許等）9,532万円を差し引いた金額4億6,146万円（実質収支といいます。）が令和6年度決算となりました。

尚、特別会計、及び公営企業会計の収支については以下の通りです。（※四捨五入による誤差が生じる場合があります）

特 別 会 計	歳 入	歳 出	差 引 額
国民健康保険事業	4 億 100 万円	3 億 8,509 万円	※15,909 万円
介護保険事業	5 億 7,237 万円	4 億 7,844 万円	9,393 万円
後期高齢者医療事業	5,149 万円	4,922 万円	※226 万円
ケーブルテレビ事業	9,396 万円	8,934 万円	462 万円
公 営 企 業 会 計	当期純利益（1年間の事業活動で得た最終的な利益のこと）		
簡易水道事業			6,533 万円
農業集落排水事業			18,828 万円



久保山 直巳 議員



■ 教育現場のコンプライアンスについて

■ 通学路の安全対策は？

※その他小中学生の SNS 利用の現状と、課題・対策について質問した。

教育現場のコンプライアンスについて

問

コンプライアンス体制の現状・法令遵守を伺う。

答

教育長

新聞記事を活用した管理職からの講話、あるいはボトムアップ形式による不祥事防止研修を定期的に行っている。

また、毎月開催します村内の校長会において、各校長先生方と不祥事防止に向けた情報を共有しながら、私のほうから話している。

問

通報・相談体制等は？

答

教育長

関係機関であります警察、児童相談所をはじめとする機関への通報と連携により、事態の解決に

向けた対応を教育委員会とともに進めて行く。

情報開示については、児童生徒の保護といった観点を尊重するとともに、人権に配慮した開示のあり方を考慮した上で、行なっていく。

学校では、ハラスメント防止相談員を2名ずつ指名している。教職員間のハラスメント行為が生じ、あるいは疑われるような事案が発生した場合、相談員にすぐ相談できる体制が整っている。

問

不祥事発生時の対応・第三者機関の関与は？

答

教育長

関係機関であります警察、児童相談所をはじめとする機関への通報と連携により、事態の解決に向けた対応を教育委員会とともに進めて行く。

情報開示につきましては、児童生徒の保護といった観点を尊重するとともに、

人権に配慮した開示のあり方を考慮した上で、行なっていく。

問

今後の課題と取り組みを伺う。

答

教育長

信頼関係の構築に向けては、まずもって先生方が健康で、児童生徒として学び向き合い、日々の学習指導、生徒指導に取り組んでもらうことが大前提であると認識をしている。

そのためにも先生方の働き方改革の推進、あるいはストレスチェックの実施や産業医の活用等により、教職員の健康維持と把握に努める。

通学路の安全対策について

問

歩道のない通学路のグリーンベルトの早急な設置を要望。

答

教育課長

学校からの要望や、交通量が多く歩道整備が困難な区間を中心に順次対応を進めており、今後についても児童生徒の安全確保を最優先に、交通量や通学路の危険度を基準とした優先順位を設け、関係機関と協議しながら、計画的な設置を検討して行く。



児童の安全を確認するグリーンベルト



立道 徹 議員



■ 再生可能エネルギーについて ■ 村営住宅建て替え（林田団地・新寺の下団地）について ■ 役場駐車場について

再生可能エネルギーについて

問

令和6年度、再生可能エネルギーゾーニング計画策定支援業務をされ、この山江村の地形に合わせ、村民の皆様のご協力により、計画策定されました。

令和7年度において、公共施設を利用し、導入する計画があるというところで、導入計画、並びに、村の支出があるのか。

答 企画調整課長

本年度において、山江中体育館、農村環境改善センターの屋根に太陽光発電設備を設置する方向である。環境省の補助金を活用し、設備を設置する民間事業者が申請者となり、施設を提供する共同事業者となることから、財政負担はない。

電気料金の削減、併せて、蓄電池も整備するので、災害時にも電力供給できる。

問

山江村総合エネルギー検討委員会が開催されていますが、今後、どのような計画を考えているのか。

答 企画調整課長

現在の太陽光パネルに加え、次世代の太陽光パネルなどの新技術の導入も検討しながら、脱炭素社会の実現に向け整備していく。公共施設では太陽光を、小水力発電、木質バイオマスの3つを基本的な再生可能エネルギー導入計画をしている。

問

省エネ家電買替促進補助金は、今後も継続するのか。

答 企画調整課長

脱炭素社会への取り組みを進めるために、省エネ家電買替促進補助金は、今後も継続する。

村営住宅建て替え（林田団地・新寺の下団地）について

問

入居者説明会を実施されたということであるが、今後の計画は。

答 建設課長

令和7年度、建て替え事業計画用地の選定、用地買収交渉。
令和8年度、造成・土木工事。
令和9年度、住宅の設計。
令和10年度、建築工事。
令和11年度、（同右）
令和12年度、旧団地の解体、撤去工事。
令和13年度、入居開始。
現在、候補地の検討中

である。

役場駐車場について

問

駐車場の整備（舗装・白線）は考えていないか。

答 総務課長

降雨後に水たまり等があり、イベント開催時に不便であると認識している。

現在の所、計画はしていないが、活用できる補助事業、充当できる地方債や基金を確認しながら、前向きに検討していく。



降雨後の役場前駐車場



北田 愛介 議員



株式会社「やまえ」の経営状況？

農業用水問題の解決は？

村道沿線の除草の状況は？

(株)やまえの近年の経営状況を伺う

問 先日、令和6年度の経営状況が報告されたが、過去5年間の決算状況を伺う。

答 企画調整課長

各年度の決算状況は左記のとおり。

(株)やまえ決算状況

令和2年度	▲8,925,621円
令和3年度	▲8,811,072円
令和4年度	▲18,988,342円
令和5年度	2,337,154円
令和6年度	1,790,253円

問 各部門毎の経営分析を伺う。

答 企画調整課長

温泉部門は売上が伸びているが、燃料高騰の影響もあり売上原価も上昇傾向にある。宿泊部門は新型コロナウイルス感染症からの経済回復に向けた割引クーポン等の経済効果もあり年々売上は伸

びているが、光熱費や物価高騰、人件費の上昇など一般管理経費が上昇傾向にある。物産部門は栗まんじゅう、びつくり団子に加えやまえ栗ペーストの需要が高まっております。

また、栗ペーストの需要が高まっております。また、栗ペーストの需要が高まっております。また、栗ペーストの需要が高まっております。

問 燃料高騰対策として温泉の再掘削を検討されていたが、具体的な計画はあるのか。

答 村長

千m下は54度あるが途中水の侵入で37度まで下がる。温泉掘削には一億程度必要となる。財源を含めて検討していく。

問 施設のリニューアルや民間譲渡の計画はあるのか。

答 村長

リニューアルと不動産鑑定を含めた温泉セン

ターを経営したいという人がいないかということに密接な関係がある。

まず公募をしてみたりリニューアルや水源をどうするか具体的に検討していかねばならない。

今夏の農業用水対策を伺う

問 村内において農業用水不足の相談はなかったか。

答 産業振興課長

8月上旬に多面的事業により村内各所で重機による堰の用水確保を行ったので、例年以上に声は上がらなかった。

問 以前質問した一丸地区の用水不足対策の対応状況は。

答 産業振興課長

多面的事業による作業で足りていた。チラシを配り用水管理の徹底を呼び掛け下流部の用水確保

を図った。

ハード事業を行うには受益者の合意形成が必要となる。受益者と慎重に相談しながら解決策を見つける。

村道沿線の除草作業の現状を伺う

問 近年温暖化により村道沿線の草木の繁茂が激しい、対応状況を伺う。

答 建設課長

年間の委託業務による除草。緊急的に事業所に対応を依頼する除去。建設課職員の直接対応により行っている。



村道沿線の繁茂状況



横谷 巡議員



■ 熱中症予防対策は！ ■ 村の拠点事業「栗の駅」の 地元対策は！ ■ 尾崎キャンプ場の再建は！

村民の暮らしを守る
熱中症対策は

問

村民に対して、どのような注意喚起と健康被害対策をされているか。

答 健康福祉課長

熱中症警戒アラートが発表された場合や熱中症予防指針を考慮し、防災無線で注意喚起を行い、健康被害対策は高齢者世帯など、声掛けや安否確認を定期的に行っている。

学校内にウォータースーバー設置の考えは

問

下校中の熱中症対策として、持参する水筒に冷水を補充するウォータースーバーを設置する考えはないか。

答 教育課長

各学校では製氷器や冷蔵庫の水を活用しており、現時点での設置は考えていない。

栗の駅整備事業の
地元説明会の計画は

問

地元住民から事業説明会の要望があるが計画の予定はあるのか。

答 企画調整課長

用水路、排水路は関係者に説明を行い、十月三日に村民向けの事業説明会を行う。施設近隣の住民の方にもお声掛けをしたい。

隣接住宅へのプラ
イバシー配慮対策は

問

隣接する個人住宅の歴史的景観や文化財価値に興味を持たれ、侵入されること

も考えられるのでその配慮対策は。

答 企画調整課長

民有宅地への無断侵入などを心配されることを伺っているので、現地を確認しプライバシーの配慮対策に努めてまいりたい。

尾崎キャンプ場の
今後の方向性は

問

施設の老朽化から存続判断の時期にきている。自然を求めるアウトドア等の高まりがある中、キャンプ場の今後のあり方は。

答 企画調整課長

ヤマメ生産組合の支援に加え、キャンプ場の活用について、地域おこし協力隊を導入し、再建の方向で検討を進めている。

キャンプ場の再建
活用の考えは

問

山間地域が元気になるような挑戦的施策の一つとして、村の活性化につながる地域交流拠点として整備を図る考えはないか。

答 企画調整課長

村の新たな拠点「栗の駅」と連携しながら地域の交流拠点のモデルとして、山紫水明の景勝地を活かし、ヤマメの養殖に加えてキャンプ場をどう開発していくのか、地域おこし協力隊と協議を重ねながら検討していきたい。



地域交流拠点として期待される
現在の尾崎キャンプ場



白川 俊博議員



生活習慣病予防は定期的な 検診から！ 水田の維持へ支援策を！

(単位：人・%)

項目	種別	R4年度		R5年度		R6年度	
集団検診		515人		308人		310人	
がん検診	肺がん	659	30.4%	653	30.7%	648	30.7%
	胃がん	464	21.4%	408	19.2%	436	20.6%
	大腸がん	561	25.9%	551	25.9%	518	24.5%
	子宮がん	351	24.7%	315	22.6%	298	21.8%
	乳がん	380	28.6%	324	24.8%	314	27.2%
特定検診（メタボ検診）		321	62.3%	291	60.3%	298	63.0%

集団健診、がん検診、特定検診の受診者・率の推移は左記のとおり。

答 健康福祉課長

近年の健康診断の受診者及び受診率を伺う。

問

がん検診受診率は20〜30%台、メタボ検診は60%台！

がん死亡数の順位（2023年）

項目	1位	2位	3位	4位	5位	備考
男女計	肺	大腸	膵臓	胃	肝臓	大腸を分けた場合、結腸4位、直腸7位
男性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓	大腸を分けた場合、結腸4位、直腸7位
女性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃	大腸を分けた場合、結腸3位、直腸10位

※元データ：人口動態統計がん死亡データより

がん罹患数の順位（2021年）

項目	1位	2位	3位	4位	5位	備考
男女計	大腸	肺	胃	乳房	前立腺	大腸を分けた場合、結腸3位、直腸6位
男性	前立腺	大腸	肺	胃	肝臓	大腸を分けた場合、結腸4位、直腸5位
女性	乳房	大腸	肺	胃	子宮	大腸を分けた場合、結腸2位、直腸7位

※元データ：人口動態統計がん死亡データより

問

罹患者が多い大腸がん、全大腸内視鏡検査の無償実施と予防接種の更なる自己負担の軽減の考えはないか伺う。

全大腸内視鏡検査の無償実施は、予防接種の更なる助成は

答 健康福祉課長

S状結腸内視鏡検査や便潜血検査の受診率の向上へと注力して行く。

全大腸内視鏡検査の無償化は考えていない。予防接種の軽減は医師会等で形成されている協議会に発信して行く。

ジャンボタニシの駆除対応に苦慮

問

日向瀬橋の上流水田で被害が確認されるが被害面積の把握、相談等はあっているか。

答 産業振興課長

生息域の正確な面積は把握していない、被害の相談もない。

問

今後、被害が拡大する恐れがあるが、軽減のための助成など対策の考えはないか。

答 産業振興課長

駆除への薬剤もあるが無農薬栽培農家もいる、散布は肥料調整や周辺生物に影響を与える、駆除に対して補助は考えていない。

個人が管理する水田への支援策は

問

圃場整備後に経過した水田は劣化が進み、水はけが悪くなったり、用排水の機能が十分でない箇所が見受けられる、支援策の検討は出来ないか。

答 産業振興課長

水はけの悪い水田の調査は進めている。今後は最適な方法を見つけ、補助等を検討する。



機能しない用水調整器

令和7年第6回山江村議会定例会

第6回定例会に提出された事件は、報告1件、認定7件、同意2件、議案12件の計22件で、全議案とも原案のとおり可決されました。

一般会計補正予算

質 疑

白川議員

○保育所等における ICT 化推進事業補助金 15 万円の計上について

○水防費における消耗品費の増額について

西議員

○財産管理費における修繕費の増額について

○企画総務費における備品購入費の増額について

答 弁

健康福祉課長

○万江保育園における園児の登園、降園を管理するシステムの導入経費への補助

総務課長

○当初予算にて消防団活動服を計上していたが、物価高騰により見込みより見積額が上がったため増額した。

総務課長

○役場庁舎の雨漏り、大会議室の照明を LED 化するための経費等が必要となったため増額した。

企画調整課長

○公用車の購入に係る経費を増額した。

山江村名誉村民の選定

氏名：吉無田 春男 氏（故人）

山江村出身であり、競泳の日本代表として人吉球磨初の五輪選手として、2度オリンピックへ出場。郷土の誇りとして偉大な功績をたたえ、顕彰するもの。

山江村監査委員の選任

氏名：平山 辰也 氏

任期：令和7年10月1日～令和11年9月30日

議員活動の一コマ

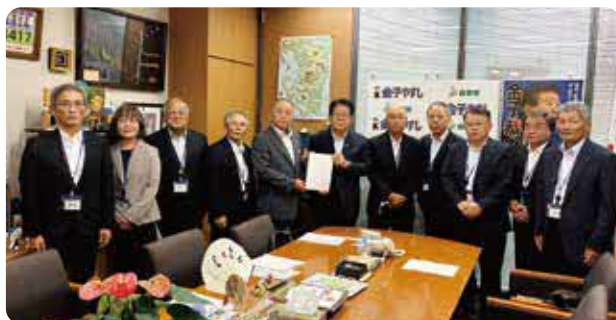
令和7年度町村議会広報研修会

令和7年度町村議会広報研修会が令和7年8月28日、LINE CUBU SHIBUYA（渋谷公会堂）にて開催されました。インタビュー記事を足して読まれる広報紙の作り方や、スマートフォンを活用した撮影技術・動画作成の基本など、多岐にわたる講義を受講してきました。



令和8年度主軸事業要望及び行政視察研修

令和7年9月24日から26日にかけて、「令和8年度主軸事業要望」として、衆・参両議院の国会議員へ要望活動を行い、その後愛媛県西条市の「いとまち」等を視察研修しました。「いとまち」は現在山江村が進めている「栗の駅」構想のモデルとなった施設で、「建築」、「エネルギー」、「食」、「テクノロジー」、「グリーンインフラ」をキーワードに、ホテルやマルシェなどの「商業ゾーン」と戸建住宅による「住宅ゾーン」で構成されています



国会議員への要望活動



「いとまち」の視察研修

熊本県町村議会議員研修会

令和7年10月9日（木）熊本県町村議会議員研修会が行われ、全議員が出席しました。今回は元大和大学政治経済学部教授田中富雄氏を講師に、「これからの一般質問のあり方」と題し、オンライン形式での講演会でした。

内容は、一般質問の作法として19項目のチェックポイントをクローズアップし、どのように一般質問をすれば、議員としての役割、議会としての機能を果たすことができるのか等を講演されました。



だんだんなぁ

気象庁は、今年の夏は平均気温が1898年の統計開始以降で最も暑い夏で、40度以上となったその日を「酷暑日」と名称を付ける方針と発表しました。日本の夏の日数は年々増え続けており、長い夏と冬の二季化が進んでいるという。

今年の異常気象は、国内各地で線状降水帯を発生させ、8月には県内にも記録的な大雨をもたらした。自然の驚異を改めて実感した夏でもあった。

その暑い夏もようやく終わり実りの秋を迎えた、「やまえ栗」も、生育中の猛暑により収穫に影響を与えている。

また、稲作においては短かった梅雨の影響で心配していたが順調に生育し、収穫量は例年若しくはそれ以上とも聞くが、高温が続く近年の気象状況に耐えられる「猛暑に強い高温耐性品種」への導入が急がれる。

農産物は、品種改良により気候変動に対応できるようだが、人間はそうも行かない、毎年の事だが暑さ対策は、早めの水分補給と身体を冷やす事が一番だそう。

今後も、35度を超える「猛暑日」が日常となるのも近いのではないかと、それぞれが異常気象となっている現状を、今一度認識し、見つめ直し、地球温暖化対策などに真剣に取り組まなければならぬのではないだろうか。

（文責 白川 俊博）

【山江村議会広報編集特別委員会】

委員長／本 田 りか
委員／白 川 俊博

久保山 直巳
北 田 愛介